



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 ヤマト・インダストリー株式会社
 コード番号 7886 URL <http://www.yamato-in.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 重岡 幹生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 岩本 滋行

TEL 03-3834-3111

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	10,418	11.4	155		193		207	
2021年3月期第3四半期	9,348	16.8	402		373		390	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 58百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 411百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	206.81	
2021年3月期第3四半期	388.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	8,206	1,272	15.5	1,266.47
2021年3月期	8,618	1,330	15.4	1,324.58

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,271百万円 2021年3月期 1,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期期末配当予想については、未定です。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,400	11.1	210		280		300		298.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	1,017,179 株	2021年3月期	1,017,179 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	12,691 株	2021年3月期	12,691 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	1,004,488 株	2021年3月期3Q	1,004,510 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、詳細は添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を受けるなか、依然として厳しい状況で推移していましたが、ワクチン接種が進み、緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかしながら、年末からのオミクロン株の感染拡大や、原油高や円安、諸資材価格の高騰等により依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、国内外の体制を再整備し、合理化の実行による業績向上をめざしてまいりました。

売上は、104億18百万円（前年同四半期93億48百万円）と増収となり、利益面では、営業損失1億55百万円（前年同四半期損失4億2百万円）、経常損失1億93百万円（前年同四半期損失3億73百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億7百万円（前年同四半期損失3億90百万円）と改善傾向となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません

（合成樹脂成形関連事業）

顧客業績の回復に伴い、当社及び連結子会社で売上が増加したことにより売上高は、88億64百万円（前年同四半期80億93百万円）と増収となり、利益面では、営業損失1億18百万円（前年同四半期損失4億20百万円）と改善傾向となりました。

（物流機器関連事業）

受注拡大に努め積極的な営業活動を展開し、売上高は、15億53百万円（前年同四半期12億55百万円）と増収になりました。利益面では、円安及び諸資材の高騰により、営業損失36百万円（前年同四半期利益17百万円）と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

資産合計は82億6百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億12百万円減少しました。これは、主に受取手形及び売掛金が3億49百万円減少したことによるものです。

（負債）

負債合計は69億34百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億53百万円減少しました。これは主に、電子記録債務が1億57百万円増加、短期借入金が4億11百万円減少、長期借入金74百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産合計は12億72百万円となり前連結会計年度末と比べ58百万円減少しました。これは主に、為替換算調整勘定が1億43百万円増加、利益剰余金が2億7百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月12日に公表しました連結予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,431,543	2,115,742
受取手形及び売掛金	2,597,733	2,248,361
電子記録債権	619,236	729,087
商品及び製品	517,713	578,130
仕掛品	143,354	150,631
原材料及び貯蔵品	280,196	386,213
その他	138,073	144,554
流動資産合計	6,727,851	6,352,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	280,299	274,220
機械装置及び運搬具(純額)	482,581	483,296
土地	768,976	768,976
リース資産(純額)	63,003	47,349
建設仮勘定	120	911
その他(純額)	74,753	71,813
有形固定資産合計	1,669,735	1,646,568
無形固定資産		
リース資産	11,682	9,261
その他	18,136	15,080
無形固定資産合計	29,819	24,342
投資その他の資産		
投資有価証券	34,046	33,325
その他	160,344	149,877
貸倒引当金	△2,830	—
投資その他の資産合計	191,561	183,203
固定資産合計	1,891,115	1,854,113
資産合計	8,618,966	8,206,835

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,085,758	2,156,409
電子記録債務	282,577	440,553
短期借入金	1,736,184	1,324,616
リース債務	29,069	25,638
未払法人税等	16,209	19,041
賞与引当金	—	9,305
その他	368,405	301,507
流動負債合計	4,518,204	4,277,071
固定負債		
長期借入金	2,511,795	2,437,639
リース債務	56,504	38,957
繰延税金負債	42,655	33,889
退職給付に係る負債	149,572	138,756
その他	9,707	8,368
固定負債合計	2,770,234	2,657,611
負債合計	7,288,439	6,934,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	927,623	927,623
資本剰余金	763,504	763,504
利益剰余金	△281,812	△489,552
自己株式	△23,244	△23,244
株主資本合計	1,386,071	1,178,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,354	1,744
繰延ヘッジ損益	542	481
為替換算調整勘定	△26,854	116,733
退職給付に係る調整累計額	△31,387	△25,982
その他の包括利益累計額合計	△56,345	92,976
非支配株主持分	801	845
純資産合計	1,330,527	1,272,153
負債純資産合計	8,618,966	8,206,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	9,348,824	10,418,408
売上原価	8,632,450	9,522,639
売上総利益	716,373	895,769
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	128,036	136,114
給料及び賞与	440,602	418,523
退職給付費用	25,726	30,216
その他	524,587	466,001
販売費及び一般管理費合計	1,118,953	1,050,854
営業損失(△)	△402,579	△155,085
営業外収益		
受取利息	2,018	2,472
受取配当金	398	420
為替差益	13,973	—
受取手数料	4,878	5,258
賞与引当金戻入額	27,828	—
助成金収入	22,680	1,088
その他	11,083	6,335
営業外収益合計	82,862	15,577
営業外費用		
支払利息	49,529	45,031
為替差損	—	6,689
その他	4,404	2,018
営業外費用合計	53,933	53,739
経常損失(△)	△373,650	△193,248
特別利益		
固定資産売却益	908	1,521
特別利益合計	908	1,521
特別損失		
固定資産売却損	—	300
固定資産処分損	725	1,848
事業構造改善費用	4,392	—
特別退職金	—	15,574
特別損失合計	5,117	17,723
税金等調整前四半期純損失(△)	△377,860	△209,450
法人税等	12,662	20,011
法人税等還付税額	—	△21,873
四半期純損失(△)	△390,522	△207,588
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	151
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△390,561	△207,740

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△390,522	△207,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,117	390
繰延ヘッジ損益	189	△61
為替換算調整勘定	△38,075	143,651
退職給付に係る調整額	15,994	5,405
その他の包括利益合計	△20,773	149,385
四半期包括利益	△411,295	△58,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△411,307	△58,418
非支配株主に係る四半期包括利益	11	214

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、有償支給取引において、従来は有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しないことといたしました。

また、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

この結果、四半期連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,093,213	1,255,611	9,348,824	—	9,348,824
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,537	106	47,644	△47,644	—
計	8,140,750	1,255,718	9,396,468	△47,644	9,348,824
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	△420,206	17,626	△402,579	—	△402,579

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,864,751	1,553,657	10,418,408	—	10,418,408
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,988	208	75,197	△75,197	—
計	8,939,739	1,553,866	10,493,606	△75,197	10,418,408
セグメント損失(△)	△118,401	△36,684	△155,085	—	△155,085

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。